

【議案】令和8年度松浦市一般会計補正予算（第1号）について

本議案については、本会議最終日において、賛成多数で可決されました。

採決に先立ち、2人が反対討論を行いました。

反対討論の要旨

小川議員

○庁舎整備事業（デジタルサイネージ設置）について

- ・電気代だけで年間約60万円が想定され、現在の懸垂幕の維持費と比較して高額である。
- ・デジタルサイネージでは、画面が次々と切り替わるため、周知したい情報を目にする機会が減る恐れがある。
- ・教育施設等の整備、産業振興、空き家対策など、生活基盤に関わる行政課題が山積する中で、優先して整備する必要性があるのか。
- ・市役所職員の負担が増えることが想定される。
- ・将来の財政を圧迫する懸念がある。

志水議員

○中学校制服購入費補助金について

- ・限られた財源の使い方、補助の公平性、決定までの進め方に疑問がある。
- ・子どもたちの安全、生命に関わる事業を優先的に取り組むべき。
- ・同じ制服を購入しながら、学年によって補助の有無が生じるのは、公平性の観点から市民の理解が得られない。
- ・制服の在り方検討会において、保護者の負担軽減だけではなく、お下りの活用、動きやすさ、多様性への配慮などを目的として、制服の市内統一が検討されたと認識しているが、制服統一化の目的との整合性について改めて検証が必要ではないか。
- ・議会への十分な説明や議論がない中で、対象となる保護者への文書配付が行われた行政手続きの進め方に大きな違和感を覚える。



本議会最終日の録画映像はこちらから。

長崎ヴェルカ応援Tシャツ着用！

6月定例会初日の6月12日に、議員および市長をはじめ理事者全員が長崎ヴェルカの応援Tシャツを着用して本会議に出席しました。

長崎ヴェルカが男子プロバスケットボール・Bリーグ1部チャンピオンシップで見事年間王者に輝いたことや、本市出身者がユースチームのコーチを務めていることもあり着用しました。



編集委員のつぶやき

うだるような厳しい暑さが続く8月となりました。蝉の声が一段とにぎやかになり、夏の盛りを感じます。

子どもたちは夏休みです。暑さに負けず、思い出に残る夏にしてほしいものです。

さて、「夏を制する者は受験を制する」と言われるように、暑さの厳しいこの時期をどう乗り越えるかが、その後に影響します。受験生にとって夏は大きな勝負の時期です。暑さに負けず机に向かい、自分自身と向き合う積み重ねが、やがて大きな力となって実を結びます。

また、スポーツの世界では、夏の鍛錬が秋以降の結果を大きく左右するといわれます。自分を鍛えぬく日々は、技術だけではなく心の強さも育ててくれます。

文武において、「確固不拔」の精神で、日々精進をしてください。

議会は今後も、市民の暮らしに「寄り添い、支え守る」。その信念で取り組んでまいります。

（福）

市議会だより編集委員会

委員長 志水 周
副委員長 小川 晃弘
委員 福本 宗典
委員 村尾 一樹
委員 紙本 宏幸